

2012年(平成24年)8月8日(水曜日)

## 琉球光和、患者の満足度向上へ

# 看護師や医療事務員教育

沖縄県内で医療機器販売を手掛ける琉球光和(那覇市、秦一社長)は、地元の医療機関に勤務する看護師や医療事務員向けに教育事業を始める。医療機関を訪れた患者に対する適切な接し方などが身に付く講習会を開き、民間資格の取得を促す。患者の満足度を高めることで、顧客である医療機関の競争力向上を支援する。

### 講習会 資格取得を支援

「医療コンシェルジュ」12日に開催する。患者へ「資格認定講習会」を11、12日の接し方を実演形式で習

得できるほか、最新の医療技術に関する講義などもある。インターネットを活用して検査機器などの説明方法も学べる。受

#### 主な講習カリキュラム

##### eラーニング(事前学習)

医学一般  
医療被ばくについて  
画像診断一般  
医療における個人情報保護

##### 講習会

院内コミュニケーション(60分)  
医療コンシェルジュ実習(150分)  
医療におけるトピックス(120分)

##### 筆記試験

8月11、12日  
琉球光和で実施

講料は1人8万円。約20の医療機関から31人が参加する予定だ。

受講後、筆記試験に合格すれば、特定非営利活動法人(NPO法人)の日本医療コンシェルジュ研究所(東京・中央)が認定する「医療コンシェルジュ」の資格を取得できる。

現在、同資格の取得者は全国で700人以上いるが、沖縄県内は3人だけ、うち2人は琉球光和の社員という。これまでに同資格を取得するには東京、大阪などで開かれる講習会に参加する必要

があった。  
同社は、医療機関が同資格の取得者を配置すれば、待ち時間に患者が訴える症状を聞き取って医師に適切に伝えることもできるようになり、診療の効率化につながるとみている。